

原子力システム研究開発事業

事後評価総合所見

研究課題名：マイナーアクチニドの中性子核データ精度向上に係る研究開発	
研究代表者（研究機関名）：原田 秀郎（日本原子力研究開発機構）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：井頭 政之（東京工業大学）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：堀 順一（京都大学）	
研究期間及び研究費：平成25年度～平成28年度（4年計画） 282百万円	
項目	要約
1. 研究の概要	<p>マイナーアクチニド (MA) 核種を中心とする中性子核データを高精度に測定できる技術を開発するとともに、これを適用した核データ測定結果を反映した評価を行うことにより、信頼性の高いデータを整備し、環境負荷低減効果の評価に重要な中性子核データを高精度化することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 熱中性子捕獲断面積の高精度化2) TOF測定に用いるサンプル量の高精度測定3) 中性子全断面積測定を組み合わせた共鳴パラメータの高精度決定4) 測定エネルギー範囲の高速中性子領域への拡張5) 測定と評価のキャッチボールによる高品質評価
2. 総合評価	<p>A</p> <p>ADS設計に重要な核データの精度向上手法を開発し、MA核データの整備について十分な質の知見が獲得されており、今後の高速炉等における検証などが期待される。</p> <p>また、評価者と測定者による討論がなされていることは評価できる。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>